

青の煌めきあおもり障スポ（第25回全国障害者スポーツ大会）リハーサル大会
兼 第25回全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会
サッカー競技実施要領

1 競技規則

令和8年度（2026年度）に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本パラスポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チームの構成は、監督1名、コーチ2名以内およびプレーヤー16名以内（男女は問わない）とする。
- (2) 監督およびコーチがプレーヤーを兼ねる場合は、プレーヤー名簿に登録されていない場合はプレーヤーとして出場できない。この場合のプレーヤー人数は、プレーヤーを兼ねる監督およびコーチを含めて16名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合は、青森県を除くトーナメント方式で行い、3位決定戦を実施する。また、トーナメント戦以外に、青森県を含む交流戦を実施する。
- (2) 試合時間は60分（前後半各30分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。ただし、決勝戦および3位決定戦は、試合時間70分（前後半各35分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
なお、交流戦の試合時間は40分（前後半各20分）とし、ハーフタイムのインターバルは10分間とする。
- (3) 試合時間内で勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式により次回戦進出チームおよび3位を決定する。ただし、決勝戦は20分（前後半各10分）の延長戦を行い、なお決しない場合は、ペナルティーキック方式により1位を決定する。
- (4) 試合開始前に登録された交代要員のうち、5名まで交代が認められる。
- (5) 脳振盪による交代（再出場なし）の追加について
 - a. 1試合において、各チームは最大1人の「脳振盪による交代」を使うことができる。「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。
 - b. 「脳振盪による交代で入る交代要員」は、交代で退いた競技者であっても交代で競技者になることができ、その前に何人の交代が行われているかにかかわらず、いつでも交代して出場することができる。
 - c. 「脳振盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは、（脳振盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
- (6) マルチボールシステムを採用する。
- (7) ベンチ入りするチームスタッフのうち、都度1名が主催者の設けるテクニカルエリアか

ら戦術的指示をプレーヤーに伝えることができる。テクニカルエリアに入る者は、責任ある態度で行動しなければならない。

(8) 出場停止処分について、累積警告2枚で次試合に出場することができない。また、退場処分を受けた者についても、次試合に出場することができない。

4 服装等

(1) チームは、フィールドプレーヤー、ゴールキーパーそれぞれ正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を用意しなければならない。原則として背番号は1番から99番までとし、参加申込書に記入した番号を着用する。

(2) その他については、公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程に準ずる。

5 試合球

試合球は、公益財団法人日本サッカー協会検定5号球とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、令和8年（2026年）2月（予定）に開催するプログラム編成会議において、主催者が関係者立会いのもと、代理抽選の上、決定する。

7 開始式、閉会式・表彰式

開始式は、競技開始前に競技会場で行う。

閉会式および表彰式は、競技終了後に競技会場で行う。

8 招集

(1) メンバー表（監督1名、コーチ2名、プレーヤー16名の合計19名以内）は、試合ごとに試合開始90分前までに競技本部に提出すること。（交流戦を除く。）

(2) 各試合開始70分前にマッチコーディネーションミーティングを行う。（交流戦を除く。）

(3) タイムスケジュールを厳守すること。ただし、前の試合がペナルティーキック方式等により試合時間が延長した場合は、本部より別途指示する。

9 出場権

この大会の優勝チームは、第25回全国障害者スポーツ大会への出場権を得る。

10 その他

(1) 競技開始に先立ち、監督会議を行う。なお、監督会議の日時および場所については、別途通知する。

(2) ベンチは、組合せ表の左側のチームをグラウンドに向かって左側とする。

(3) ベンチ内へは、プレーヤー、監督、コーチ以外は入ることができない。ただし、チーム

スタッフ3名とは別に、チームに帯同しているトレーナーが2名までベンチに入ることができる。なお、トレーナーは参加申込時に登録した者とする。このトレーナーは実際に施術ができる者とし、公認パラスポーツトレーナーの有資格者であることが望ましい。

(4) 競技会場の指定されたエリアには、プレーヤー、監督、コーチ、事前登録されたトレーナー、大会役員、競技役員、競技補助員、実施本部員、ボランティアおよび主催者が認められた者以外は入場することはできない。

(5) 練習は定められた場所で安全に留意し、主催者の指示に従って行うものとする。

(6) 練習球は、各チームで用意する。

(7) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途決定する。

(8) 競技に関する不明な点は競技本部に、その他不明な点は実施本部に問い合わせる。